

# 認知症の先端治療探る

## 伊藤、新妻氏ら 長寿医療研究センターで

公明党愛知県本部の伊藤渉代表(衆院議員)、新妻秀規副代表(参院議員)と党

同県議団の小島丈幸団長らは15日、同県大府市にある国立長寿医療研究センター



健康長寿支援ロボットセンターで説明を受ける伊藤氏(右から3人目)、新妻氏(同5人目)ら=15日 愛知・大府市

を視察した。このセンターは病院と研究施設などからなり、認知症などの加齢に伴う病気について先駆的治

療や研究を行っている。

同センターの鳥羽研二理事長らが施設の概要を説明した後、伊藤氏らはアルツハイマー病を根本的に治療・予防する薬の開発や、同センターが開発したコグニサイズ(運動と計算・しりとり等を組み合わせた認知症予防プログラム)の普及に向けた課題を聞いた。その後、健康長寿支援ロボットセンター、世界最大の「もの忘れセンター」も見て回った。

視察の後、伊藤県代表は「認知症は世界的な課題。センターをサポートし、安心して暮らせる社会の実現に努力したい」と述べた。